

1. 開成町の魅力と認知度の向上を

現在、国内の多くの地方自治体が人口減少問題を抱えている中で、本町では昨年10月には18,000人を超える、着実に人口増加を続けている。総務省が2019年7月に公表した「人口増減率ランキング2019」では、全国市区町村のうち38位という結果が出ている。これは、国内でもかなり元気なまちといえることが証明されている。

一方で、第五次開成町総合計画では、人口推計として、令和4年の19,300人がピークとされていることや、第8章「効率的な自治体経営を進めるまち」の施策である「信頼される質の高い行政の実現」では、課題として、「定住人口の拡大、交流人口の拡大を図るため、町の魅力を見つめ直し、磨き上げることで、開成町のイメージを向上させることができます。」と記載されており、今後、対応策が必要と考える。

また、本町がどのような町なのか、町外へ幅広く認知度を向上させる施策を講ずるべきである。

将来にわたり元気なまちを持続するために、更に町の魅力を向上し、認知度を高める必要があると考え、次の事項について町の見解を問う。

- ① ブランディング戦略の現状と課題は。
- ② 各種イベントの更なる戦略は。
- ③ 交流人口の増加策は。
- ④ 関係人口の考え方と対応は。